



**栄光園だより**  
第140号

2025年7月31日発行  
発行  
社会福祉法人 栄光園  
別府市南荘園町5番18号  
〒874-0904 電話 (23) 2827  
<http://www.eikoen.jp/>  
編集 広報誌編集委員会  
印刷 大野印刷株式会社  
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

# 10か月の研修を終えて

## リリア・スロツトル (ベルリンミッション)



私は、去年の秋から今年の夏までの10か月間、栄光園で研修をさせていただきました。

毎日の仕事は、いわゆる「仕事」というよりも、子どもたちと遊んだり、一緒に夕ご飯を食べたりと、生活を共にすることが中心でした。とくに遊びの時間は、子どもたちの本当の気持ちや表情が見えてくる、とても大切な時間でした。最初は緊張していた子ども、何日かすると笑顔を見せてくれるようになり、私も心がほっとしました。

毎週金曜学校(教会学校)の司会も担当させていただきました。最初は日本語で進行することに少し不安を

感じましたが、子どもたちが私の言葉  
を真剣に聞いてくれたので、少しずつ  
自信が持てるようになりました。また、  
施設の心理士の方と月に2回ほどの  
ペースでお会いし、打ち合わせや保  
育園の訪問を一緒にしました。実際に専  
門職の方が子どもたちとどう関わって  
いるのかを近くで見ることができ、と  
ても勉強になりました。心理士という  
仕事、ただ話を聞くだけでなく、日  
常の中に自然に入って支えていく仕事  
だということも実感できました。

この研修で一番学んだのは、福祉の  
仕事の奥深さと、人と人との関わり  
の大切さです。私は将来、心理士になり

栄光園での体験を、ドイツでの心理士の仕事に生かしていきたい。



たいと思っています。だからこそ、子  
どもたちとの毎日の関わりの中で、相  
手の気持ちを想像しながら行動する  
こと、自分の立ち位置を意識すること  
の大切さを日々感じました。私は「職  
員でもなく、子どもでもない」という  
今までになかった立場だったので、子ども  
たちにとっても、お互いのちょうどい  
い距離感を見つけるのに少々時間が必  
要でした。しかし、毎日を共にするう  
ちに、子どもたちとの距離も自然と縮  
まり、私らしい関わり方が少しずつで  
きるようになりました。

あつという間の10か月でしたが、数  
えきれないほどのたくさん思い出を

作ることができました。あらゆる行事  
やイベント、一方、何気ない毎日の会  
話、子どもたちの笑顔やちょっとした  
成長。どれも私にとって大切な思い出  
であり、これからもずっと心に残るで  
しょう。この研修で得た経験や気づき  
を大切にして、これからの学びや、将  
来心理士として働くうえでしっかりと  
生かしていきたいと思えます。何の経  
験もないドイツから来た私を快く受け  
入れてくださり、心から感謝しており  
ます。

栄光園の皆さん、今までのご指導、  
本当にありがとうございました。

### リリア・スロツトル

ドイツ生まれのドイツ育ち。  
ドイツ語の他、4か国語を話す。  
(英語・日本語・フランス語・台湾語)  
リリア氏は、現在18歳で7月にはドイ  
ツに戻り、心理士になるためにミュウ  
ヘンのLMU大学に入学予定



子どもたちと  
しめ縄飾りを作りました

# 乳幼児総合支援センター 栄光園

## 大分県知事と意見交換

保育主任 得能 三志郎

5月13日に、知事が県民と意見交換する『県政ふれあい対話』が当センターで行われました。まず、安西センター長が現在行っている支援の説明や、さらに支援が必要な親子の実情などをお伝えし、それぞれの部門の主任からも、こどもが退所した後の長期的な支援や困窮世帯のこどもへの学習支援などについての要望などもお伝えしました。

佐藤知事は、とても気さくな方で、和やかな雰囲気の中でも、一つ一つの意見にしっかりと耳を傾けていただき、「厳しい状況にいるこどもたちや保護者の支援は大変重要な課題です。貴重な意見を持ち帰り早急に検討していきます」と丁寧にお答えいただきました。

乳幼児総合支援センター栄光園と名



称を変更し、高能化多機能化を進めていき、あっという間に1年が過ぎました。新たな事業展開を進めていく中で、私たちがだけでは解決できない課題もたくさん見えてきています。今後、さらに県や市町村とも連携していきながら、こどもたちとその保護者が安心して生活・子育てできるように支援していきたいと思っています。

## 特別養子縁組里親支援機関プレス・ユ一 里親里子支援にあたって

里親訪問・養育支援員 渡邊 由季

今年度より、特別養子縁組里親支援機関プレス・ユ一で里親訪問・養育支援員に配属されました。

長年、養育の場でこどもたちと関わってきたのですが、今年度からは違う職種で働くことになり、現在多くの事を経験しています。そのうちの一つが、里親認定前研修での講義になります。今回私は真実告知についてお話ししました。私自身が真実告知について学ばないとお伝えできないので、少ない時間の

中、必死でいろんなことを学びました。

また、相手に分かりやすく伝えるという事がとても大変で、話す順番、分かりやすい資料の用意等、様々な準備をして何とか終わることができました。

この年齢でも、新しい事を学び仕事ができることが、新人に戻ったようで楽しみながら取り組んでいます。これからも、多くの事を学び、里親や里子の支援ができるように頑張りたいと思います。

## 安心して過ごせる環境を

りすグループ

保育士 山路 理子

私は現在、0ヶ月〜1歳10ヶ月のこどもたちが生活しているグループで働いています。この時期のこどもたちは、毎日見せてくれる表情が違い、出来る事が増え、その成長を間近で感じられる事に大きな喜びを感じています。寝返りが出来た時や自分の足で一歩踏み出した時等の姿は、何度見ても胸がいっぱいになります。乳幼児総合支援センターには、様々な事情で親元を離れて生活しているこ



## 児童育成支援拠点事業

こどもの居場所の名前が決まりました!

### こどもの居場所 Mixポケット

個性豊かなこどもたちが居場所というポケットの中にいるというイメージです。年齢も性格も異なったこどもたちが、この場所で一緒に過ごしなが、それぞれの得意なところを伸ばし、こども同士で関わり合いながら相手の思いに気づき、その思いを尊重してあげることを知り、こどもの中で育ちあいをしています。生活の中でおきた様々なトラブルで乱れた自分の気持ちを落ち着かせることも、こどもたち自身で学んでいるようです。生活の中でいろいろなこどもや大人と出会い、様々なことを学び取ってきています。



こどもたちが暮らしています。最初はどこか不安そうだったこどもが、少しずつ笑顔を見せてくれるようになったり、抱っこを求めて来てくれたりする中で、愛着や信頼を感じることがあります。私は、安心して自分を出せる環境を整えることが、私たちの大切な役割だと考えます。そのため、一人ひとりの気持ちやペースを大切にしながら、安心して過ごせる環境の中で信頼関係を築き、こどもたちがのびのび育っていきけるよう、温かく見守ってまいります。

### 児童養護施設

## Aちゃんとの出会い

オゴウホーム

保育士 奈須 琴美

3年前、6歳の女の子Aちゃんと出会いました。出会った当時は聞き分けがよく大人の顔色を伺って過ごしていたのが印象的でした。冬に栄光園に入所し、春には一年生になりました。期待と不安でいっぱいの入学でした。Aちゃんがランドセルを背負い、一緒に手をつないで校庭の桜を見ることができた時には涙がこぼれました。

授業が本格的に始まると、勉強に躓きが見られはじめました。不安や自信のないAちゃんだったため、何をすることも「Aちゃん下手くそだから」、「Aはできないから」と上手にできていることも自分自身で否定してしまったりする姿が多く見受けられました。

2年生のはじめに「わからない、って言ってもいんだって！」と学校の先生から言われたことを話してくれました。Aちゃんのその一言に、「わからない」を当たり前にも言っても良い言葉として認識していた私は驚き、同時に顔色を伺い相手の反応に敏感なAちゃんには、なんと返事してよいのかわかりませんでした。以前からも困りに寄り添ってきただつもありましたが、あらためて彼女が発信できていない困りに寄り添い、相談し



やすい環境を整えるため、「困りの伝え方」を知らせるようにしました。勉強では「わ

からないから教えて」と言う回数が増え、躓いていた学習にも自信がつき始めました。暮らすなかで、「できない」「下手くそだから」が口癖だったAちゃんが縄跳びの二重飛びを練習し、「ねえ、ちよつと見ててね!」と何度も飛べるようになったことを披露するほど、少しずつ自信がついてきました。笑顔が増えました。泣くことも増えました。プリン怒ることも増えました。

現在Aちゃんは3年生になり、学校から帰ると「今日の宿題、わり算だから簡単!」見て、テストで100点とつたよと嬉しそうに話します。字が綺麗でクラスに掲示されたようで、照れながらも喜んでいました。まだまだ自信がなく挑戦をためらう場面も少なくありませんが、失敗してもまずはやってみることを大切にして経験を積み重ねている最中です。今は入所当時の姿からは想像できないくらい少しずつ自信を付けていっていることを実感し、嬉しく思う日々です。Aちゃんの成長が私自身の喜びでもあります。周りを気にし過ぎず色々な事に挑戦し、楽しいと感じることをたくさん見つけるように、寄り添っていききたいと思います。

## 新生ノマチホーム

ノマチホーム

ホーム長 藤本 一明

2016年度に開設した地域小規模ノマチホームは、2024年度まで男子児童の安心・安全を守り、快適な生活ができるように、試行錯誤を重ねながら運営してまいりました。開設当初に在籍していた児童は立派な社会人となり、ノマチホームを実家のように思ってくれている卒園生が、年下の児童に差し入れを持って来てくれる姿もありました。生活していたころを懐かしみ、リビングで久々の団欒を楽しむ姿もありました。

しかしながら、昨今の児童数の低下に伴い、新規入所児童数の減少により、当施設も定員を下げる運びとなりました。そのため、現時点での男子児童の割合が減り、昨年度末で男子棟としてのノマチホームは一旦幕を閉じ、今年度より女子棟となったノマチホームの新しい生活が幕を開けました。

新生ノマチホームは中学3年生1名、高校1年生1名、高校2年生2名の計4名の女子児童が生活をしております。その中には、乳児院栄光園(現・乳幼児総合支援センター栄光園)から当施設に入所し、初めて一般家で生活する児童がおります。

施設の門からの出入り、数多くの児童の声や複数の職員の声、自身の生活空間に関係がなくても鳴っていた電話

などが今まで「当たり前」でした。今年度からは一般家屋の玄関からの出入り、地域の子どもや大人の声、自身の生活空間に用事があるときだけ鳴る電話など、これからは一般的な「当たり前」の中で生活しております。この環境の変化を心地よく思い、心新たに成長していく児童らを見守り、安心・安全で快適な生活を送れるように支援していきたいと思えます。

## 青山こども園

### ねがいごとがかないますように

保育士 原 美香子

らいおん組5歳児のお友だちは、七夕の行事に向けて短冊に願いごとを書きました。ひらがなを書くことが得意なことでは自分で書く姿が見られました。また、苦手なこどもは「先生、一緒に書いて」や「僕は家でゆっくり考えて書いてくる」など様々な声が聞かえてきました。

こどもたちは「お願いごとなんてか



## 名称が 青山こども園 に変わりました

主幹保育教諭 二宮 孝介

青山保育所は4月より青山こども園に変わりました。青山こども園が考えている自園の幼児教育の部分についてご説明いたします。

青山こども園の活動の中心は遊びと考えています。こどもたちは遊びのなかで様々なことを学び、乳幼児期のこの年齢のこどもたちは将来にわたってよりよく生きる力の基礎を培っています。私たちが考える生きる力とは、遊びを通して感じたこと考えたことを豊かに表現できる力、その力をもとに自分で決めて行動できる力、試したり、工夫したりして遊ぶことを粘り強く何度も挑戦して試行錯誤できる力です。そしてそれらの力を育むために職員はこどもたちの言葉に耳を傾け、先回りせず子どもたちの考えや、表現を受け止めたくて共感するなどの応答的なやり取りをし、夢中になって遊ぶことができる環境づくりを心がけます。

この内容は青山こども園の新しい教育・保育目標の1つとして掲げられ、行事や日ごろの保育に意識して取り入れる内容になっています。これを目標として保育をし、こどもたちにこども園が楽しいと思ってもらえるように、保護者の皆さんには安心して預けることができると思ってもらえるように心がけます。

## 雨の中でもお散歩楽しいね

保育士 宮本 真耶加

きりん組3歳児のお友だちは、梅雨時期ならではの雨の中レインコートを着て傘をさしながら園庭を散歩しました。園庭を一周し、葉っぱの上に着る雨の様子をじっくり観察するなど、普段はなかなかできない体験を楽しむ



いたの?」とお友だちに聞いたり「これ自分で書いたよ」と話をしたりする姿がありました。お友だちが書いている物を見ることで自分とは違う表現に気づいたり、友だちの良さに気づいたり、認め合う経験ができたと思います。これらは年長児ならではの姿です。こうした友だち関係が深まる活動を今後も取り入れていきたいと思っています。

ことができました。その後は、クラスで飼っていたカタツムリを自然に返すことにし、各グループで「どこに逃がしてあげようか?」と相談しながら場所を決め、「ばいばい、また遊ぼうね!」と優しく声を掛けてお別れしました。身近にある様々な環境と保育を結び付けてお友だちの経験がより豊かになるように心がけてまいります。

## 酸っぱいんだけど!?

保育士 阿部 菜月

ぞう組4歳児のお友だちは、クラスで作った梅シロップが飲み頃になっていたのでみんなで飲んでみました。

「酸っぱい!」と聞いて、「ほんのりだったか覚えてる?」と聞くと、ほとんどのこどもが「覚えてない!」と言っていました。今回は、お水で割って飲みました。まずは匂いを嗅いで「なんかすっぱそうじゃない?」「なんか甘い匂いがする!」と言っていました。いざ乾杯してみると、「すっぱいんだけど!」「おいしい」の2つに感想が分かれました。「氷砂糖をいっぱい入れたから甘いと思ったの!」と作った時のことを思い出して飲んでみたら想像と違ったお友だちが多かったようです。お口に合ったお友だちはおかわりしたり、他の先生にも配ったりしてみんなで美味しく頂きました。今後もしもこどもたち自身が関わった食べ物安全と感じたり、みんなと楽しく作る経験をしたことでこのようなこどもたちの姿を見ることができたのではないかと思います。こういった経験を繰り返しながら食への興味・関心を深めていきたいと思っています。



## あら、ふしぎ!

保育士 尾原 亜紀



うさぎ組0歳児のお友だちは、絵の具を使ったいろんな活動をしました。ジップロックの中に紙と絵の具を入れて色が混ざる様子を見たり、クレヨンで描いた上からローラーで色をつけて塗り広がる様子を見たり、スーパーパーボールに絵の具をつけて転がして色がつく様子を見たりしました。

保育士が準備をしていると、気になるように見に来るこどもたち。「まぜまぜするよ」「ころころしてみようね」と活動内容を伝えると、道具を指差したり、手を叩きながら嬉しそうに声を出したりしています。活動は1人ずつ順番にしたり、みんなと一緒にしたりと様々ですが、色のつく様子や混ざる様子に興味を持ち、「おーっ!」と歓声を上げたり、「あ?」「え?」と不思議そうに首を傾げたりしながら楽しんでいきます。

乳幼児期は、「触る(触覚)」「嗅ぐ(嗅覚)」「聞く(聴覚)」「味わう(味覚)」「見る(視覚)」の五感を使って遊ぶことで、たくさんのお友だちの顔を習得します。また、いろいろな物に触れて繰り返し楽しんでいく中で、想像力や創造力、集中力や忍耐力などを養う基礎も身に付けるこ

とが出来ると言われています。初めて触るものが多い年齢なので、最初は触るのをためらったりすることもありますが、まずは保育士が楽しんでる様子を見せていきながら、色んな感触を味わい、遊びを楽しんでほしいと考えています。

## 野口保育所

新年度がスタートして3ヶ月が経ちました。こどもたちは毎日友だちや保育士と一緒に楽しく過ごしています。7月からはこどもたちが楽しみにしていたプールや水遊びなど夏ならではの遊びも始まります。こどもたちの様子を少しずつですが、お伝えしたいと思います。

### 野菜の苗植えをしたよ!

主任保育士 末吉 佳奈

食育の一環として、今年も2歳児がミニトマト、3・4・5歳児はミニトマト・きゅうり・ピーマンの苗植えをしました。また4・5歳児のこどもたちが給食のメニューに出ているスイカの種を「植えてみたい!」と担任に話し、



プランターに種をまきました。こどもたちは自分たちが植えた苗に毎日順番で水をあげ観察して収穫できる日を楽しみにしているようです。保育目標の一つである「食育を通して楽しく食事を「する保育」を目標に野菜の成長や収穫、色々な食育活動を通して食べ物の大切さや収穫の楽しみなどを知ってもらえたら嬉しいです。



### 園内研修・保育心理カウンセラー

九州産業大学子ども教育学科の阿部敬信先生において頂き、青山こども園と一緒に「子ども一人一人を大切に育てる丁寧な保育を目指して」をテーマに研究保育を行い、二園全体で勉強会を行っています。また、月に一度法人内の心理カウンセラーの井生浩之さんにもおいで頂いて、職員のメンタルヘルスや園児の気持ちに気付けるような取り組みを行っています。

阿部先生や井生さんと連携をとり、保育所とご家庭でも協力・連携しながらこどもたちがよりよい育ちに向かっているよう、支援してまいります。

### 聖書の言葉

神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。

(創世記1章31節)

別府不老町教会 牧師 尾崎 二郎

主イエスの眼力は計り知れません。ほんの一瞥で、物事の本質や行く末など全てを見られます。それゆえ、人間は、神の御前に何一つ隠し立てすることとは出来ず、全ての事は、主に見られているのです。

み深いまなざしで見られます。新生児は、この世に生まれて来た時、泣いていますが、周りに憐み深いまなざしがあることで、落ち着かされ微笑みます。新生児は、周りの人たちを通して、主イエスの憐れみを受けていると言えるでしょう。

それに比べて、人間の眼力は弱々しく往々にして大切な事を見逃してしまします。アダムとエバは、いかにもおもしろい木の実を見て食べました。そして自分たちが裸であるのを見て、恥ずかしくなって、神に見られないように逃げ隠れするようになってしまいました。(創世記3章)

科学的な考察により、今や人間の目にも、「最初の天と最初の地は去って行く」ことが見られるようになりました。しかし、人間にはおそれがあるのでも、そのままでは「新しい天と新しい地を見ることが出来ないのです(ヨハネの黙示録21章)。今の時代こそ、私たちに、憐み深い主イエスが常にすぐそばにいて、私たちを見て慰めて下さり、主イエスから希望を与えられることが必要なのです。

聖書には、もともとは「御覧」といった尊敬語は使われていません。「見る」という語句は、ヘブライ語でラーア、ギリシャ語でプレポーといった基本語が、最初から最後まで使われています。そして、主イエスと人間とが、見られるという親しい応答をしていくうちに、人間は主によって救われるということが聖書には書かれています。

富める者人見つめつつ  
ああ主のひとみまなざしよ  
きよきまを去りゆきし  
なげくはたれぞ主ならずや  
ああ主のひとみまなざしよ  
三たひわが主をいなみたる  
よわきハト口をかえりみて  
ゆるすはたれぞ主ならずや  
ああ主のひとみまなざしよ  
うたがいでどうトマスにも  
み備しめて「信せよ」と  
宣らすはたれぞ主ならずや  
きのうもきよもかわりなく  
血しおしたるのみ手をのべ  
「友よ、かえれ」とまねきつつ  
待てるはたれぞ主ならずや

「イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て、飼いのいない羊のような有様を深く憐れみ、いろいろと教え始められた。」(マルコによる福音書6章34節) 主イエスは私たちを常に、憐れ

### 讃美歌 243番 「ああ主のひとみ」

ああ主のひとみまなざしよ  
きよきまを去りゆきし  
富める者人見つめつつ  
ああ主のひとみまなざしよ  
三たひわが主をいなみたる  
よわきハト口をかえりみて  
ゆるすはたれぞ主ならずや  
ああ主のひとみまなざしよ  
うたがいでどうトマスにも  
み備しめて「信せよ」と  
宣らすはたれぞ主ならずや  
きのうもきよもかわりなく  
血しおしたるのみ手をのべ  
「友よ、かえれ」とまねきつつ  
待てるはたれぞ主ならずや

### 保育参観

保育士 坂本 聖子

6月14日(土)に今年度初めての保育参観がありました。当日は、3歳児のりんご組は親子で七夕飾りの制作をしました。お家の人やきょうだいと一緒に楽しそうに作ったり、近くのお友だちやお家の人同士で話したりする姿を見て嬉しく思いました。

少しの時間でしたが、お家の方と一緒に過ごし、子どもたちの様子を伝え合うことが出来て良かったです。

これから1年間元氣いっぱいなりんご組の子どもたちと一緒に毎日楽しく過ごしていきたいと思えます。



### 地域交流事業 集いの場くるみ

地域支援担当 原田 康子

#### 4月

4月は、NPO法人むぎの会様のご招待でタケノコ掘りに行きました。タケノコ掘り初体験の子どもたちが多く、掘り方を教えてもらい早速タケノコ掘りに挑戦していました。地面からまだちょっとだけ頭を出しているタケノコを一生懸命に探して掘っていました。1時間ほどタケノコ掘を楽しんだ後ピザ窯で焼いてくださった出来立てのピザをいただき、皆大満足のタケノコ掘のイベントとなりました。

後日子どもたちに「タケノコどうやって食べた？」と尋ねると、「お父さんがあく抜きをしてくれたよ。」「たけのこご飯にして食べたよ。」と嬉しそうに話してくれました。

1年間竹林を管理してくださった方々や当日たくさんの方々の準備してお腹を満たしてくださった方々に感謝いたします。貴重な体験と楽しい時間をいただきましたありがとうございました。



#### 5月

5月は、旧乳児院の建物の中で子どもたちに自由に遊んでもらいました。ゲームや卓球、おもちゃライブラリーのおもちゃで遊ぶなど、それぞれが興味のある遊びを楽しんでいました。

いつもは提供された遊びを楽しんでいますが、今回は、自分で遊びを見つけました。自分で考え行動することもなくなってもらうための一つの取り組みです。



#### 6月

6月は、「100万人のクラシックライブ」を開催しました。この「100万人のクラシックライブ」は、音楽で心の健康と豊かな体験を届けたいとの思いを込めたことともに音楽を届けるプロジェクトです。

このライブも4回目となり、土屋昭穂様と酒井円香様のお二人がライブを楽しませてくださいました。

ピアノの音はどうして出るの?と、子どもたちに問いかけ、演奏しているピアノの中を覗かせてくださいました。子どもたちは興味津々でピアノの中でハンマーが弦を叩いて音を出す仕組みを見ることができました。

また、実際にバイオリンの音を出す

体験もさせていただきました。小学生には、こども用の小ぶりのバイオリンで2音を出しながら情熱大陸の主題歌「エトピリカ」の演奏をさせてもらいました。中学生の児童には、ご自身のバイオリンを弾かせてくださり大変恐縮致しました。

前回とは違ったライブを届けてくださったので新鮮な気持ちでライブを楽しみむことができました。子どもたちだけでなく、地域の方、ボランティアスタッフも日常の疲れを癒していただけました。ありがとうございました。ありがとうございました。



### ありがとうございました。

6月の昼食は、ピザラ大分 別府店様よりピザのご寄付をいただきました。日ごろなかなか出すことが難しいメニューだったので大喜びで食べていました。笑顔いっぱいのお食事となりました。

また毎月コルディア・レ農園の九州電力様(株)林ケミック様、川崎地質様(株)RXJapan様、高速道路トルテックノ口ジイ様(株)シエーエムエーシステム様よりレタスのご寄付をいただいております。柔らかくておいしいレタスなので小さい子ども喜んでいただいています。

社会福祉法人 栄光園

2024年度 決算報告

法人単位資金収支計算書

自 令和6年4月1日 ~ 至 令和7年3月31日 (単位:円)



Main financial statement table with columns: 勘定科目, 予算(A), 決算(B), 差異(A)-(B). Rows include 事業活動による収支, 施設整備等による収支, and other activities.

寄付・招待・奉仕報告

Table of donations and services with columns: 項目, 協力者人数, 金額. Includes rows for 賛助金, 一般寄付, 自立進学資金, and 特別物品寄付.

事業報告

乳幼児総合支援センター

院長 安西 恵子

管理運営

- 人事及び職員構成
●2025年度 新規採用...保育士3名 心理士1名 調理員等1名
(法人内異動)社会福祉士1名
職員配置状況...40名(嘱託医を含む)

- 入所児童状況(定員15名)
2024年度 入所人数...10名 退所人...10名

Table with 2 columns: 一時保護委託件数, ショートステイ・トワイライト受入件数, 里親レスパイト受入件数. Values include 59件, 190件, 60件.

野口保育所

所長 工藤 直子

管理運営

- 人事及び職員構成
●2024年度 退職者...保育士2名
●2025年度 新規採用者...保育士1名
●2024年度 職員配置
施設長1名 主任保育士1名 保育士...9名/パート職員2名
栄養士...2名 調理員...パート職員1名

- 入所児童 定員60名(2025年度より定員50名に定員数変更)

Table with 3 columns: 4月在籍数, 3月在籍数. Rows for 2024年度 and 2025年度.

児童養護施設

施設長 岡田 豊弘

管理運営

- 人事及び職員構成
●2024年度 新規採用者...1名(調理員等1名)
退職者...3名(保育士2、調理員等1名)

2025年度 職員配置

【本体施設・地域小規模児童養護施設】7月1日付
施設長1名、総主任1名、事務主任1名、個別対応職員(1)ケアワーカー22名(児童指導員10名、保育士10名、調理員等2名)、臨床心理士1名、管理栄養士1名、看護師1名、家庭支援専門相談員2名、里親支援専門相談員1名、自立支援担当職員1名、嘱託医(1名)、計32名

◆児童について

2025年度4月1日より定員を36名から30名に変更した児童在籍者数25名(2025年7月1日時点)
(本園21名・地域小規模4名)

青山保育所

所長 本庄 智宏

管理運営

- 人事及び職員構成
●2024年度 新規採用者...保育士2名/調理員/1名
退職者...保育士3名

- 入所児童 (定員90名)

Table with 3 columns: 4月在籍数, 3月在籍数. Rows for 2024年度 and 2025年度.

# 栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは子どもたちの成長にまた、働く私たち職員のお励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

【2025年4月1日より2025年6月30日まで】

## 賛助金

- 愛隣幼稚園様 大分市
- 安部道人様 大分市
- 竹内富美雄様 別府市
- 川村隼秋様 熊本市
- 北方鮮魚店様 別府市
- 木村洋子様 大分市
- 島田晋様 大分市
- 園田頭三・美保様 別府市
- 立花且子様 大分市
- 増田百枝様 日田市
- 松本重孝様 別府市
- 山口産業(株)様 別府市
- 渡辺英喜様 大分市

## 一般寄付

- B混記念合唱団クールあおやま様 別府市
- いろは商事(株)様 別府市
- 岩田智子様 大分市

## 自立進学資金

- 神鳥慶子様 杵築市
- 梶原康弘様 大分市
- 平川順子様 別府市
- 佐藤京子様 別府市

## 特別物品寄付

- 洗剤、消毒液、ハンドウオッシュなど (株)サンリブ様
- プラモデル 今野裕子様

- 甘夏 上杉敬三様
- お菓子 たんぼぼ食堂(こども食堂) 大柳恵子様
- お米 萩原書籍様
- レタス コルディアール農園 (株)林ケミツ様
- レタス コルディアール農園 川崎地質様
- レタス コルディアール農園 九州電力様
- レタス コルディアール農園 九州電力様
- レタス 高速道路ルートテクノロジー様
- レタス コルディアール農園
- 衣類 シェーエムエーシステムズ様
- パン 隈井賀子様
- 衣類・靴 ココロト様
- びわ・本・文具・日用品 サープラスA・P・C様
- お菓子(こどもの日) 佐藤京子様
- キャベツ・大根・チンゲンサイ他 柴田佳代子様
- 衣類・おもちゃ・雑貨 高橋恵一様
- 衣類 谷まい様
- みかん・いちご・りんご・ジュース 中野香織様
- 衣類 日本生命保険相互会社 中山田正春様
- 衣類 大分支社 大塚優様
- キンパ・ヤンニョムチキン・からあげ 日本恵教会 朴里実様
- 入浴券 ひょうたん温泉様
- 野菜・米 フルゴスペル教会様
- 備蓄物品(パン・おにぎり・トイレ)花の苗 別府ロータリークラブ様
- 衣類 まえはら調剤薬局(フレイン前) 山本様
- お菓子 牧野千里様
- ぬいぐるみ 山口幸恵様
- 衣類・靴 ユナイテッドアローズ大分店様
- わらび餅 黒木正道様
- パン 石窯工房モコモコ別府店様
- タケノコ・タラの芽・菜花・ウド 二宮洋典様
- 甘夏・じゃがいも むぎの会様
- ミルク・衣類・靴・しょうゆ 武田真実様
- ベビー用品 マリアhead 野中優子様
- 玩具 今橋沙歩様
- キワニス人形・絵本 大分キワニスクラブ様

## 招待・奉仕

- 集いの場くるみ ボランティア
- 平川義文様・平川順子様
- 牧野千里・林田侑士様
- 首藤むつよ様・仙田怜様
- 金曜学校 別府不老町教会 川野 是様
- 別府不老町教会 尾崎二郎様
- 別府教会 庄司宣充様
- 別府野口教会 清野 量様
- WEST VILLAGE 西村大輔様
- Beauty MORE 中村雄一様
- Hair Salon Aiwa 立川奈美様
- 荒金節子様
- 書道 荒金節子様
- ハンドマッサージ ハンドバードの皆様
- タケノコ掘招待 むぎの会様
- 花の苗の植付 別府ロータリークラブ様
- 演劇招待 劇団立ち見席様
- 朗読劇招待 里海ホーム 加藤様

## 職員の動静

**退職**  
●乳幼児総合支援センター  
宮田 奈美(保育士) 5月31日付



## 物品寄付等のお礼状について

いつも栄光園の子どもたちのことを気にかけていただきありがとうございます。  
ご寄付のお礼のお手紙をその都度お届けすべくしておりますが、郵便料金高騰のため栄光園だよりを送らせていただく際に同封させていただきたいと考えております。ご理解のほどよろしく願いたします。

## 賛助会員募集

年会費、一〇千円、但し、何口でも、分割も可。  
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町5番18号です。  
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。



## 苦情等相談窓口

\*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。  
tel.0977-23-2827  
fax.0977-23-7520  
mail eikoen@live.jp

## 編集後記

短い梅雨と6月からの真夏を思わせるような強い日差しで今年の夏もまた記録的な暑さや渇水になるのかと心配になってしまっています。梅雨寒という言葉が死語になってしまったかのような気候環境の変化に対応して夏を健康に乗り切ることが地球上の生物の喫緊の課題の一つです。バランスの良い食事、しっかりととした睡眠をとり体調管理を心掛けることで熱中症にかかりにくい体作りをして、元気に夏を乗り切りましょう。  
(原田)